

野木町にある自主防災組織を紹介します！ Vol. 6

若林区自主防災協議会(令和2年4月結成)

問総務課 ☎(57)4128

日本は地震や台風等による自然災害が発生しやすい地形と環境にあります。災害から命を守るためには、自身の身は自分で守る(自助)とともに、地域や隣近所の人たちが協力しながら防災活動に取り組むこと(共助)が必要です。そのために「若林区防災組織」を立ち上げ、安全・安心なコミュニティづくりを目指しています。

防災計画は組織の中に、総務、避難誘導、救出救護、自衛消防組織の4つの班を編成し活動を行っています。避難誘導班は民生委員・見守り協力員が要配慮者等の避難誘導を、救出救護班は赤十字奉仕団等が救助資機材等の整備と応急手当等を、自衛消防組織班は若林自衛消防団員が手動ポンプや貯水槽の点検と出火防止のための啓発・広報活動を、総務班は各班との調整を行っています。

防災活動に必要な資機材等は町の補助金を活用して整備をしました。今年度は3つの自治会にそれぞれ防災倉庫を設置して、非常食・飲料水・懐中電灯などを備蓄しました。また第一自治会集会所は指定緊急避難場所のため、自家発電機を備えました。コロナが終息したら防災計画に基づいた避難訓練を実施したいと思えます。

災害は「忘れた頃にやってくる」と言われますが、「日頃の備え」が大切です。このことを心掛け、地域ぐるみの防災活動に取り組んでいきたいと思えます。



広報連絡委員レポート№.435



野木町散歩 3

広報連絡委員 岩瀬 武

今年も天気が不安定で、スカッとした気分になかなかなく、夏を迎え毎日過ごしていると思えます。

私の家の東側は水路が南北に有り、一年を通して四季が見られます。散歩するにはもってこいの環境です。

冬は寒いですが、夕日に染まる富士山(エニスホールの左側に見えます)。春は麦刈の後に田圃の米と涼しい風。夏は今回の写真風景。秋は実りの季節と、歩きながら目を楽しませてくれます。健康にもってこいの自然があります。

今回は、夏をイメージして、写真を2点載せて頂きました。1点は潤島の小さな水路に咲くカジバナと田圃の涼しい風景、もう1点は野木町のシンボル向日葵畑とエニスホール、快晴の天気も心も晴れ晴れしてくれます。



カジバナと田圃



向日葵畑とエニスホール